

の公益法人認定のための重要案件でしたが、異議なく採択され、日医の平成25年4月公益法人移行が確実となりました。また、選挙の結果を受け第6号議案「日医役員功労金支給に関する件」が上程され、承認されました。

その後11時前から、代表質問8題「診療報酬改定」「消費税」「先進医療」「理事勤務医枠」「日医のあり方」などと、道医・畑俊一代議員から「いわゆる総合医問題について」として総合医、総合臨床医、かかりつけ医、家庭医、プライマリ・ケア医、GPの区別や一本化についての質疑がありました。

午後は13時45分から、会長挨拶に対する質問1題と、個人質問11題「日医綱領」「保険診療検討委員会創設」「組織強化と広報戦略」「勤務医・全医師の日医加入」「日医発行会員証」などの質疑があり、財務委員会報告承認を経て代議員会は終了しました。その後、第70回日本医師会定例総会が続けて行われ、16時前に全日程を終えました。

今回の代議員会は、選挙と共に、1年後の公益法人移行を見据え行われた会でした。選挙も、従来は執行部が行いましたが、法人制度改革に対応して執行部から独立した選挙管理委員会が設置され、北海

道からは道医代議員会議長の塩野恒夫先生が選挙管理委員、開票管理人となりました。前述のハプニングを除き、投開票は順調に行われました。

道医にとって、今回は中川副会長当選を目標に代議員13名が一丸となりました。議長から常任理事まで、延べ23名の候補から15名を選出する日医選挙は、私にとって初めての経験でしたが、長瀬会長、道医役員、山光札幌会長など多くの方の助言があり、最善の投票ができたと思います。

新執行部は横倉新会長、現職だった中川・羽生田副会長、それと前常任理事から選出された今村副会長、他に常任理事を含めると14名中12名が日医執行部続投者です。2日目の質問への対応にもチームワークの良さが伺えましたが、今後について言えば、常任理事の勤務医起用や世代交代も前向きに考える時期とも感じました。横倉新会長は「地域医療が基本」「スピード感を持って」「オールジャパン」等々の所信を述べられました。支えあい、活力に満ち、要望と義務を分かち合う全医師参加を目指し、次期さらに進歩する日医に期待して代議員会出席記とします。

## お知らせ

### 研修会等への託児サービス併設費用の助成について

当会では、育児中の女性医師などに対し、学習する機会を確保することにより、勤務継続や復職の支援を行うことを目的に、**全道規模の専門医会等**が主催・後援する会議や研修会などにおいて託児サービスを併設した場合の費用として2万円を上限に助成することといたしております。

つきましては、該当の会議、研修会等がございましたら、当会事業第五課までご連絡くださいますようお願いいたします。

#### 助成基準

1. 対象 全道規模の専門医会等が主催・後援する会議、研修会、講演会など  
【助成内容】 託児室利用料、保育料、交通費  
(遊具・おやつ・おむつ等購入代は対象外)
2. 期間 平成24年4月～平成25年3月実施分
3. 助成額 2万円を限度として実費を助成いたします。
4. 申請方法 領収書の写し等を添付の上、所定の用紙※によりご申請ください。  
※ 下記連絡先までご請求願います。

《連絡先》 北海道医師会事業第五課  
〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目  
TEL 011-231-1434 (直通) FAX 011-241-3090 E-mail: 5ka@m.douji.jp